

# Colorful village

## ～人の繋がり無限大～

【30年後の理想像】

人と人が繋がり、地域の特色が十分にはつきされた地域社会

### 重点政策①概要

#### 島人ツアー

【政策の目的】  
島外の人と島人をつなぐ。

【事業内容】  
従来の景観を観光資材としていたツアーから、人を観光資材とするツアーにシフトする。

【費用】  
5000万

### 重点政策②概要

#### 超小型自動運転タクシー

【政策の目的】  
超小型自動運転タクシーを導入する。

【事業内容】  
自動運転の超小型タクシーを導入する。人を運ぶだけでなく、荷物を運べるようなタクシーを開発する。

【費用】  
8億

### 重点政策③概要

#### インターンシップ

【政策の目的】  
島民にグローバルな視野を持ってもらう。コミュニケーション能力を高めるほか、様々なことに興味・関心を抱いてもらう。

【事業内容】  
インターンシップや姉妹都市等との交流事業を拡大させる。また、相手も島に呼ぶ。島の教育をグローバル化する

【費用】  
1億5000万

チーム名  
堀之内事務所

## ビジョン

*Colorful village*～人の繋がり無限大～

メンバー

森 厚貴 荒垣 葵衣

## 30年後の理想のまち

【ビジョンが示す理想の状態】

- ・村ごとに特色ある島になる。

【なぜ上の理想を実現したいのか？】

- ・人とのつながりが希薄になっていて村の特色がなくなり無個性の島になってきているからより特色のある村を作りそれによって村の人口増加を目指したい。

## 現実のまち

【ビジョンと現状のギャップ】

- ・人とのつながりが希薄になりつつある。
- ・高校までしかいないため大学生がおらず年齢に偏りがある。
- ・何かの文化をひき継ぐ人がいないため特色が薄れていく。

【現状が維持された場合】

- ・限界集落ばかりになる。
- ・島民が減少して都市化が消滅する。
- ・人口が減って島と本土の繋がりがなくなってしまう。

# 重点政策①詳細

政策名

島人ツアー

## 政策の概要

【政策の目的】  
島外の人と島人をつなぐ。

【誰のための政策か】  
観光客

【政策を実施する主体】  
奄美市、旅行会社

【政策を実施する期間】  
2025年7月～2035年6月

## 政策の詳細

【事業内容】 \*政策を実行するための具体的方法  
従来の景観を観光資材としていたツアーから、人を観光資材とするツアーにシフトする。人を観光することで、達人を発見する。達人とは一般の島民のことを指す。

【政策にかかる費用】  
5000万円

【政策による影響への対策】  
従来の景観等のみを目的として奄美に来る観光客がいることが考えられるが、人を巡るツアーもすすめることでより「島人ツアー」の周知をする。

# 重点政策②詳細

## 政策名

## 超小型自動運転タクシー

### 政策の概要

#### 【政策の目的】

島内の移動手段の充実

#### 【誰のための政策か】

島民、観光客

#### 【政策を実施する主体】

奄美市

#### 【政策を実施する期間】

2025年7月～2040年6月

### 政策の詳細

#### 【事業内容】 \*政策を実行するための具体的方法

自動運転の超小型タクシー（定員1名）を導入する。人を運ぶだけでなく、荷物を運べるようなタクシーを開発する。観光客だけでなく、島民も利用できることで、物資の運搬に使うことが出来る。

利用料金について、荷物は人の半額とする。決済方法は現金とキャッシュレスにする。

#### 【政策にかかる費用】

8億

#### 【政策による影響への対策】

自動運転の超小型タクシーを導入するに当たって、新たな配車システムを構築する必要がある。また、タクシーの運転手が必要なくなるので、重点政策①③のスタッフへと移行してもらう。

# 重点政策③詳細

## 政策名

## インターンシップ

### 政策の概要

#### 【政策の目的】

島民にグローバルな視野を持ってもらう。コミュニケーション能力を高めるほか、様々なことに興味・関心を抱いてもらう。

#### 【誰のための政策か】

島の中の人、島の外の人

#### 【政策を実施する主体】

奄美市、奄美市の友好都市

#### 【政策を実施する期間】

2020年7月～2030年6月

### 政策の詳細

#### 【事業内容】 \*政策を実行するための具体的方法

インターンシップや姉妹都市等との交流事業を拡大させる。また、島と姉妹都市の市民も島に呼ぶ。島の教育をグローバル化する。

#### 【政策にかかる費用】

1億5000万

#### 【政策による影響への対策】

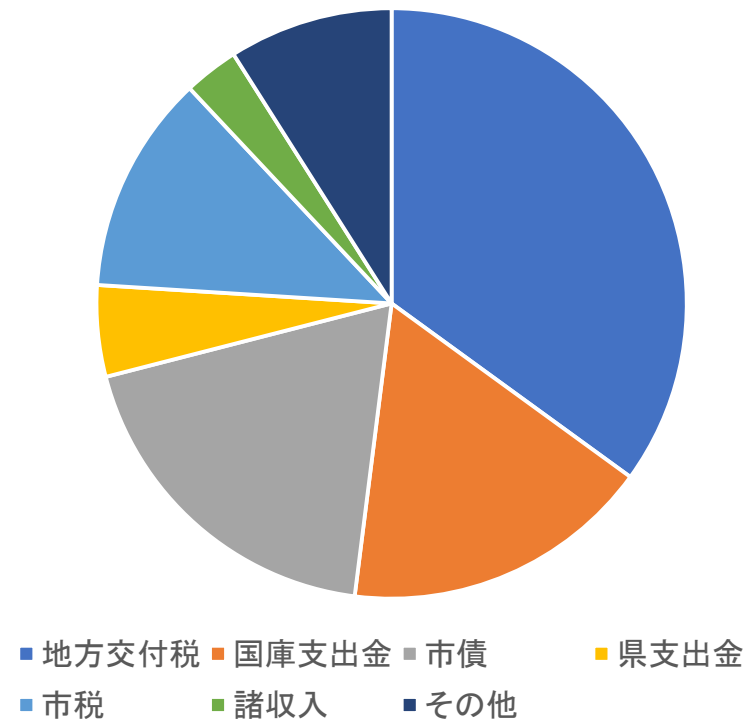
従来からインターンシップがあったが、今回の取組によって外国の友好都市の市民を受け入れ派遣する。受け入れ体制としてホームステイ先を充実させる。

# 2029年の自治体予算

# 予算の算出の対策

## 歳入の部

歳入



### 【重点政策予算の捻出方法】

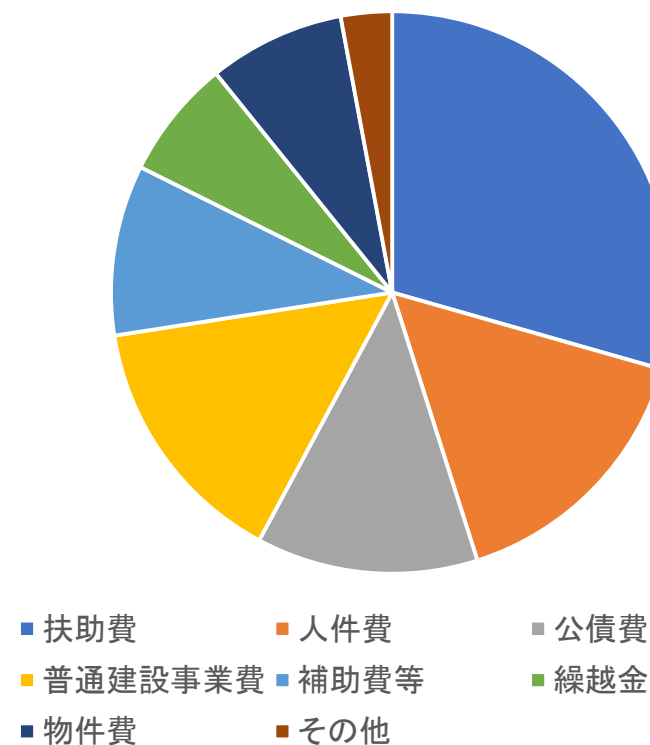
ふるさと納税  
スポンサー企業の募集

### 【現在の自治体予算からの変更点とその理由】

自主財源の増大を行う。その理由として、超小型自動運転タクシーの導入費用に充てるため。

## 歳出の部

歳出



### 【予算面の変革に伴う対策】

ふるさと納税の返礼品について再考する。  
(奄美行のチケット+商品券等)  
スポンサーに対し、建物の命名権付与・広告代の助成等を行う。